

1月 給食だより



令和5年1月
かほく市第2学校給食センター
所 長：竹本 武
栄養士：坂井 雅代 堀 いづみ

今年はずき年



うさぎのように野菜を
モリモリ食べよう!

あけましておめでとうございます。新年を迎え、気持ちも新たに3学期が始まりました。寒くて起きるのがつらい時期ですが、早寝・早起きをし、朝ごはんをしっかり食べて元気に登校しましょう。

今年も、安全でおいしい給食を提供できるよう、給食センター職員一同力を合わせてがんばります!どうぞよろしくお祈りします。

1月24日~30日は
全国学校給食週間です

学校給食について知ろう!



学校給食の始まり



学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の私立忠愛小学校で、貧しい家庭の子どもたちに昼食を提供したことが発祥とされています。その後、学校給食は子どもの栄養改善のために国から奨励され、各地へと広がりましたが、戦争の影響で食料が不足し、実施できなくなってしまいました。

忠愛小学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんが昼食を作っていました

明治22年ごろ



おにぎり 塩ザケ 漬物

大正12年ごろ



五色ごはん 栄養みそ汁

昭和17年ごろ



すいとんのみそ汁

支援物資による学校給食の再開

昭和21年12月24日、学校給食が再開されました

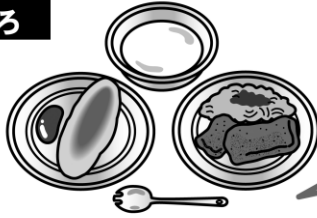
昭和22年ごろ



ミルク（脱脂粉乳） トマトシチュー

昭和27年ごろ

コッペパン
ミルク（脱脂粉乳）
鯨肉の竜田揚げ
せん切りキャベツ
ジャム



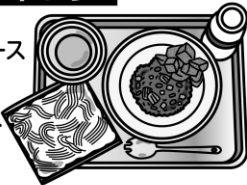
昭和25年に、アメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、「パン・ミルク・おかず」の完全給食が始まりました。



学校給食は教育活動に

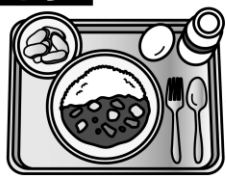
昭和40年ごろ

ソフトめん
ミートソース
牛乳
フライポテト
黄桃



昭和51年ごろ

カレーライス
牛乳
塩もみ
ゆで卵



昭和30年代後半には脱脂粉乳のミルクが牛乳へと切り替わり、コッペパン以外のパンやソフトめんなど、主食の種類が増えていきました。米飯が正式に導入されたのは昭和51年のことです。



この機会に家族で給食について考えてみませんか

学校給食は、栄養バランスがよく、子どもたちの心身の発達や健康を支え、食に関する指導をすすめるための教材になっています。また、偏った食生活、肥満傾向など、子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化している中で、学校給食は、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしています。

学校給食週間では、子どもたちや先生だけではなく、地域の人にも、学校給食の意義や役割について理解を深め関心を高めるために、全国でさまざまな行事が行われています。

給食週間中には、ふるさと給食、石川県献立、ドイツ献立、穴水町献立、駒ヶ根・かほく市献立を実施します!